

学報

2012年 6月 Vol.658



創立記念日行事（6月1日）

創立記念日行事を実施	1
「医学部附属病院北診療棟新営その他工事」安全祈願祭を執行	3
春の国際週間：交通安全・防犯指導の講習会を開催	3
東ティモール大学長らが学長を表敬訪問	4
国土交通省中部地方整備局と連携・協力に関する協定を締結	5
春の国際週間：新しい在留管理制度と外国人住民の基本台帳制度導入の講習会を開催	6
学位授与	6
表彰受賞者	7
産学連携の実施状況	7
平成25年度入試募集要項	8
諸会議	10
主要日誌	11
人事異動	《学内限定》12

創立記念日行事を実施

6月1日（金）、講堂において、学生、卒業生、教職員、教職員OBなど約400人の出席のもと、創立63周年の記念日行事を実施した。

本学管弦楽団による金管5重奏「テレブシコーレ」の演奏後、はじめに森学長が、教育、研究、国際化及び社会貢献について、新たな取り組みの報告と今後の方向性を述べた。

その後、名誉教授称号授与、職員表彰、学生表彰及び感謝状贈呈を行った。

さらにコーラスクラブによる「我等多望の春にして」の合唱により会場が盛り上がった。

行事の最後には、第32回岐阜大学フォーラムとして、京都大学物質—細胞統合システム拠点主任研究員、京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻教授の植田和光氏による「健康をまもるトランスポーター “ABC蛋白質”」と題する記念講演が行われ、最先端の研究の一端に触れ、理解を深める機会となった。



コーラスクラブによる愛唱歌合唱



記念講演をする植田氏

名誉教授称号授与

平成24年4月1日付けで名誉教授となった17人の各氏に、森学長が名誉教授称号の授与を行った。

(元所属部局)	(氏名)	(元所属部局)	(氏名)
教育学部	弓削 繁	医学部	後閑 容子
教育学部	小林 浩二	工学部	森本 博昭
教育学部	利部 伸三	工学部	安田 孝志
教育学部	高橋 弘	工学部	檜和田宗彦
教育学部	川岸與志男	工学部	若井 和憲
教育学部	伊藤徳一郎	工学部	長澤 透
教育学部	山崎 捨夫	工学部	三輪 實
大学院医学系研究科	高橋 優三	工学部	野方 文雄
大学院医学系研究科	高見 剛		

職員表彰

教育研究活動に著しく貢献した者について、功労者表彰として、5人の職員に、表彰状と記念品を贈呈した。

教育学部	准教授	山田 敏弘
医学系研究科	教授	小倉 真治
工学部	教授	守富 寛
応用生物科学部	教授	長岡 利
流域圏科学研究センター	教授	李 富生

学生表彰

○昨年度、各学部において極めて優秀な学業成績を修め、高い評価を受けた学業成績優秀者12人（学年表彰）に、表彰状と記念品を贈呈した。

教育学部 生涯教育課程	4年	佐藤 麻衣 さん
教育学部 社会科教育講座	3年	榊原 葉子 さん
地域科学部 地域政策学科	3年	臼田 好希 さん
医学部 医学科	5年	岩間真由子 さん
医学部 看護学科	3年	節田 清香 さん
工学部 社会基盤工学科	3年	松浦 健成 さん
工学部 応用化学科	3年	小林 裕貴 さん
工学部 機能材料工学科	3年	清水 大輔 さん
工学部 人間情報システム工学科	3年	神谷 卓 さん
工学部 数理デザイン工学科	3年	片桐 雅人 さん
応用生物科学部 応用生命課程	2年	加納 俊史 さん
応用生物科学部 獣医学課程	6年	並木まり子 さん

○学術研究活動において、特に顕著な業績を挙げ、学界又は社会的に高い評価を受けた1グループに、表彰状と記念品を贈呈した。

The Asian Bridge Competition 2012

「総合部門」優勝（2連覇）

工学部 社会基盤工学科 複合構造研究室 学生一同

（井口裕介さん、鈴木達也さん、川口立騎さん、長屋誠祐さん、窪田しおりさん、石丸英典さん）

○課外活動において、特に顕著な業績を挙げ、課外活動の振興に功績があった2人に、表彰状と記念品を贈呈した。

昨年12月に山岳部 ミャンマー未踏峰登頂成功を達成した、

工学部 機械システム工学科 3年 伊藤 翼 さん

応用生物科学部 生産環境科学課程 3年 森 脩祐 さん

感謝状贈呈

本学の諸事業に多大なご援助をいただいた学外の4団体と3人に、感謝状と記念品を贈呈した。

市村 みゆき 氏

岡田 実 氏

岡本太右衛門 氏

ミニストップ株式会社 代表取締役社長 阿部 信行 氏

財団法人田口福寿会 会長 田口 義嘉壽 氏

株式会社十六銀行 取締役頭取 堀江 博海 氏

富士通株式会社東海支社 支社長 佐々木 慎也 氏

「医学部附属病院北診療棟新営その他工事」安全祈願祭を執行

5月14日（月）、「岐阜大学医学部附属病院北診療棟新営その他工事」の着工にあたり、柳戸キャンパス北診療棟建設予定地において安全祈願祭を行った。

式典には、森学長、岡野理事、吉村理事、杉戸理事、岩間病院長をはじめ本学関係者及び工事関係者など約50人が参列し、厳かに神事が執り行われ工事の安全を祈願した。

本診療棟は、地上4階建て（鉄骨造）、延べ床面積は約2,800m²で、がん化学療法室（治療ベッド31台）・光学医療診療部・卒後臨床研修センターの拡充整備を行い、平成25年4月の診療開始を目指している。



鎌入れをする森学長



鎌入れをする関係者ら

春の国際週間：交通安全・防犯指導の講習会を開催

5月23日（水）、「交通安全・防犯指導の講習会」を、岐阜北警察署の協力により開催し、本学の外国人学生や研究者など約100名の参加があった。

これは、本学の「春の国際週間（平成24年5月23日～6月3日）」における講習会の1つとして、初めて行われたものである。

同講習会では、英語の通訳を交えて、外国人を対象にした「日本」における基本的な交通ルールやマナーについて指導があり、交通事故に遭わない、交通事故を起こさないための交通安全啓発についての講話、岐阜市内で多発している外国人が絡む自動車及び自転車事故、車上狙いやその他の犯罪被害に関する防犯講話などが行われた。

国際運転免許証や自転車の任意保険の加入方法等に関する質疑応答が、参加者の留学生から、講師である警察官に活発に行われ、国際週間に相応しい有意義な講習会となった。



岐阜北警察署交通課長による講演



熱心に聞き入る留学生

東ティモール大学長らが学長を表敬訪問

5月25日（金）、東ティモール民主共和国から、東ティモール大学のアウレリオ学長、リギア副学長、ガブリエル工学部長及び同国教育省のアポナリオ高等教育長官の4名が森学長を表敬訪問した。本学からは、工学部の野々村副学長、王准教授、高橋助教が同席した。

東ティモール大学は、東ティモール民主共和国では唯一の国立大学である。現在、本学は、JICA及び国内の教育機関と連携し、東ティモール大学工学部の人材育成を目的とした「東ティモール大学工学部能力向上プロジェクト」を遂行しており、JICAの同プロジェクト担当者が同行した。

懇談では、まず、JICA担当者から同プロジェクトの概要及び今後の展望について説明があった。続いて、東ティモール大学長から、本学からの支援に対する感謝の意が述べられた。また、現在東ティモール大学の教員が本学大学院工学研究科の博士課程に在籍していることに触れ、同プロジェクトのさらなる進展に期待を示された。

その後、一行は、在籍留学生と面談し、慰労と激励を行った。

本学の中期目標・中期計画には、「大学の国際化への取組成果を活かし、社会に貢献する」とあり、JICAの国際協力事業を通じた協力は、本学の国際化において、極めて意義のあることである。

今後の同プロジェクトへの積極的な協力により、東ティモール民主共和国の国づくりに更なる貢献がなされることが期待される。



森学長と懇談する東ティモール大学関係者ら



アウレリオ東ティモール大学長（左）、森学長



アウレリオ学長（前列左）と森学長（後列右から3人目）ら

国土交通省中部地方整備局と連携・協力に関する協定を締結

5月29日（火）、国土交通省中部地方整備局との間で、連携・協力に関する協定を締結した。

この協定は、教育・研究及び地域社会への貢献について、また、社会資本整備・維持の推進による持続可能で活力ある国土・地域づくりについて、相互に連携・協力し、地域における防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に貢献することを目的としている。

協定締結に際し、足立地方整備局長は「岐阜大学の教育研究の成果を生かし、幅広い分野で、地域防災力の向上に役立てたい」と述べ、森学長は「大学の知的資源を活用し、地域社会の発展に貢献したい」と抱負を語った。

なお、本学社会資本アセットマネジメント技術研究センターと中部地方整備局管内の3事務所とは、既に連携協定を締結し、双方の協力関係を築いてきている。今回の包括的な協定締結により、一層緊密かつ組織的な連携・協力の推進・強化を図っていく。



協定書に署名する森学長（右）と足立局長



握手をかわす森学長（右）と足立局長

春の国際週間：新しい在留管理制度と外国人住民の基本台帳制度導入の講習会を開催

5月30日（水）、「新しい在留管理制度と外国人住民の基本台帳制度導入の講習会」を、名古屋入国管理局及び岐阜市役所の協力により開催し、本学の特別永住者を含む外国人学生（正規生・非正規生）、外国人教職員（非常勤職員を含む）及び研究者など200人を超える参加があった。

同講習会は、英語・中国語の通訳を交えて、名古屋入国管理局から、7月9日から施行される新しい在留管理制度の改正ポイントについて、岐阜市役所市民課から、同日から施行される外国人住民の住民基本台帳制度とその手続きについて、それぞれ説明があった。質疑応答の時間では、外国人登録証の廃止とともに新たに交付される在留カードの取扱いや近々在留期間の満了日を迎える際の手続きについて、参加者からの質問が多数あり、新制度施行の前に有意義な講習会を行うことができた。



名古屋入国管理局からの説明



会場の様子

学位授与

学位の種類	学位記番号	氏名	学位授与年月日	学位論文名
博士（医学）	医博乙第1459号	三輪好生	平成24. 5. 16	Efficacy of combination therapy with tamsulosin and zolpidem on nocturia in patients with benign prostatic hyperplasia (夜間頻尿を伴う前立腺肥大症患者に 対すタムスロシン、ゾルピデム併用の 有用性)

表彰受賞者

平成23年度 日本女医会吉岡弥生賞（医学に貢献された部門）

受賞者：清島 真理子 医学系研究科教授
 業績名：乾癬治療研究などによる医学貢献
 受賞日：平成24年 5月20日

第36回キャピラリークロマトグラフィー国際シンポジウム Giorgio Nota Award

受賞者：竹内 豊英 工学部教授
 業績名：キャピラリー液体クロマトグラフィーにおける生涯にわたる功績
 受賞日：平成24年 5月29日

産学連携の実施状況

○共同研究 (平成24年 5月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
工 学 部	倉 内 文 孝	岩手県立大学
〃	柳 瀬 俊 次	公益財団法人 大分県産業創造機構
応用生物科学部	長 岡 利	(株) 秋田屋本店
〃	矢 部 富 雄	〃
〃	岩 本 悟 志	(株) コモ

○受託研究 (平成24年 5月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学部附属病院	村 上 啓 雄	岐阜県
工 学 部	大 矢 豊	(財) 科学技術交流財団
〃	武 野 明 義	〃
〃	深 川 仁	〃
〃	植 松 美 彦	(社) 日本ボイラ協会
〃	永 井 学 志	(独) 海洋研究開発機構
〃	蜷 川 忠 三	三菱重工業 (株) 名古屋冷熱製作所
〃	高 羽 浩	大学共同利用機関法人自然科学研究機構
応用生物科学部	嶋 津 光 鑑	農林水産省農林水産技術会議
〃	長 岡 利	(独) 科学技術振興機構
〃	〃	(独) 農業生物資源研究所
〃	百 町 満 朗	(独) 農業環境技術研究所
〃	中 野 浩 平	(独) 農業・食品産業技術研究機構食品総合研究所
流域圏科学研究センター	景 山 幸 二	農林水産省農林水産技術会議
生命科学総合研究支援センター	須 賀 晴 久	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構

平成25年度岐阜大学大学院医学系研究科再生医科学専攻（博士前期課程）【一般】
再生医科学専攻（博士前期課程）【推薦】

I 募集人員

専攻名	募集人員
再生医科学専攻（博士前期課程）【一般】	11人
再生医科学専攻（博士前期課程）【推薦】	若干人

II 出願期間

専攻名	期間
再生医科学専攻（博士前期課程）【一般】	平成24年7月30日（月）～平成24年8月3日（金）
再生医科学専攻（博士前期課程）【推薦】	平成24年6月11日（月）～平成24年6月15日（金）

III 入試期日

専攻名	期日
再生医科学専攻（博士前期課程）【一般】	平成24年8月29日（水）・平成24年8月30日（木）
再生医科学専攻（博士前期課程）【推薦】	平成24年7月7日（土）

IV 合格者発表

専攻名	期日
再生医科学専攻（博士前期課程）【一般】	平成24年9月19日（水）正午
再生医科学専攻（博士前期課程）【推薦】	平成24年7月20日（金）正午

平成25年度岐阜大学大学院応用生物科学研究科修士課程学生募集

I 募集人員

専攻名	一般入試	推薦入学	社会人	外国人留学生
資源生命科学	45人	指導教員1人 あたり1人	若干人	若干人
生物環境科学	44人		若干人	若干人

II 出願期間

試験種別	期 間
一 般	平成24年7月2日(月)～平成24年7月5日(木)
推 薦	
社 会 人	
外 国 人 留 学 生	

III 入試期日

試験種別	期 日
一 般	平成24年8月2日(木)・平成24年8月3日(金)
推 薦	平成24年8月3日(金)
社 会 人	平成24年8月2日(木)・平成24年8月3日(金)
外 国 人 留 学 生	

IV 合格者発表

試験種別	期 日
一 般	平成24年8月16日(木) 10時
推 薦	
社 会 人	
外 国 人 留 学 生	

諸会議

◇ 第349回役員会

5月10日（木）

議 題

1. 職員の功労者表彰について
2. 学外者に対する感謝状の贈呈について

◇ 第2回部局長・部長会

5月10日（木）

事 項

1. 平成24年度岐阜大学内部監査基本計画について
2. 岐阜大学と国土交通省中部地方整備局との連携・協力協定について
3. サテライトキャンパスについて
4. 文部科学省科学技術人材育成費補助金 女性研究者研究活動支援事業に係る外部評価の実施結果について

◇ 第2回大学教育委員会

5月15日（火）

議 題

1. 教育推進・学生支援機構の設置について
2. 学生表彰について
3. サークル設立承認について
4. 平成24年度日本学生支援機構大学院第一種奨学生及び第二種奨学生定期採用の推薦について

◇ 第350回役員会

5月17日（木）

議 題

1. 岐阜大学と国土交通省中部地方整備局との連携・協力協定について
2. 業務達成基準適用事業に係る達成度等について
3. 教育職員の人事（工学部：准教授1）について
4. ポイント外教育職員の配置について

◇ 第103回教育研究評議会

5月17日（木）

議 題

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇ 第351回役員会

5月17日（木）

議 題

1. 教育職員の任期を定める規程の一部改正について

◇ 第2回教養教育推進センター業務実施委員会

5月21日（月）

議 題

1. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
2. 平成24年度前学期特別聴講学生等の履修について
3. 平成24年度後学期授業時間割について

◇ 第2回国際戦略本部会議

5月22日（火）

議 題

1. 国際戦略本部専門部会員の選出について
2. 平成23年度国際交流事業決算及び平成24年度国際交流事業計画について
3. 優秀学生の海外派遣プログラム（案）について
4. 平成24年度岐阜大学サマースクール（受入）について
5. ガジヤマダ大学との学術交流協定の締結について
6. シドニー大学との学術交流協定の締結について
7. 学生・教職員の海外派遣に関する危機管理について
8. その他

◇ 第2回入学試験委員会

5月23日（水）

議 題

1. 工学部の学科改組に伴う平成25年度入学者選抜（平成24年度実施）における入学定員、募集人員、受験を要する教科・科目の変更（案）について
2. 工学部の平成26年度入学者選抜（平成25年度実施）における入試の変更（案）について
3. 工学部の平成27年度入学者選抜（平成26年度

<p>実施)における大学入試センター試験・個別学力検査の教科・科目の設定(案)について</p> <p>4. 医学部看護学科入学者選抜基準の一部改正(案)について</p> <p>5. 平成25年度地域科学部第3年次編入学学生募集要項(案)について</p> <p>6. 平成25年度後期日程試験における医学部医学科の試験会場(案)について</p> <p>7. 平成25年度一般入試の試験時間割(案)について</p> <p>8. 推薦入試(学部1年次)における出願資格の再検討(案)について</p>	<p>◇ 第352回役員会 5月24日(木) 議 題 1. 教育職員の人事(教育学部:准教授又は助教3)について</p> <p>◇ 第353回役員会 5月31日(木) 議 題 1. 特任教員雇用事前協議について 2. 選択定年制における目標等の裁定について</p>
--	--

主要日誌

月 日	行 事 名
5 / 9	看護学科・看護学専攻教授会議(医) 教授会・代議員会(工)
10	第349回役員会 第2回部局長・部長会
15	第2回大学教育委員会
16	教授会・研究科委員会(教・地・応) 医学研究科・医学科教授会議(医)
17	第350回・第351回役員会 第103回教育研究評議会
20	平成24年度東海・北陸地区国立大学法人等職員採用試験
21	第2回教養教育推進センター業務実施委員会
22	第2回国際戦略本部会議
23	交通安全・防犯指導の講習会 第2回入学試験委員会 教授会(生命)
24	第352回役員会
25	代議委員会(連獣)
30	クリーンキャンパス 新しい在留管理制度と外国人住民の基本台帳制度導入の講習会
31	第353回役員会
6 / 1	創立記念日行事